



ロードバイクタイヤ購入ガイド



チューブラー、チューブレス、クリンチャー？

正しいタイヤで走ることは、より高いパフォーマンスと安全性を得るための基本です。ここでは、自転車用タイヤを選ぶ際に考慮すべきさまざまな機能を紹介합니다。

使用する自転車の種類

マウンテンバイク、グラベル、ロードバイクなど、使用する自転車によって、タイヤの種類は大きく異なります。今回は、弊社が専門としているロードバイクのタイヤを中心に紹介します。

タイヤの種類は？

チューブラー、チューブレス、それともクリンチャー？

チューブラー、クリンチャー、チューブレスのどれを選びますか？

装着するホイールの種類（それぞれのタイヤは特定の種類のホイールを必要とします）の他に、あなたのニーズや習慣によっても選択が異なります。

チューブラーは、クリンチャーやチューブレスレディとは異なり、快適性、より高いフィーリング、安全性を提供します。しかし、チューブラーの取り付けには、従来のクリンチャータイヤの取り付けよりも時間がかかることがあります。一方、両面接着テープの導入により、リムセメントでの接着しか選択肢がなかった以前と比べ、チューブラーの取り付けははるかに簡単、迅速、かつ清潔になり、タイヤシーラントのおかげで、パンクしても家に帰れるようになりました。

クリンチャーは、取り付けやチューブの交換が簡単のため、特にトレーニングや長距離走行に使用する方に最適なタイヤです。チューブラーとは異なり、クリンチャーはケーシングが完全に閉じた円ではなく、タイヤのビード部分が硬いリムの上に乗る半円であるため、快適性には欠けます。また、クリンチャーはリムに接着されていないため、安全性と性能はチューブラーに劣ります。

自転車フレームのフォーク下、チェーンステー下の部分

自転車フレームが小さい場合、タイヤやサイド部分がフレームに擦れる恐れがあるため、取り付け可能なタイヤの最大サイズを確認する必要があります。

ベロフレックスでは、タイヤが装着できないことを避けるために、タイヤのサイズを小さくしていますが、何キロか走るとケーシングが緩むため、時間の経過とともに0.5～1.0mm程度拡大します。

これまで、正しい自転車用タイヤを選ぶ際に考慮すべきすべての特徴を挙げてきました。ここで、個人的なニーズや条件によって異なる、その他の特徴に着目してみましょう。

価格帯

高価格帯のタイヤ、平均的なタイヤ、低価格帯のタイヤ？

それは、あなたが自転車用タイヤに何を期待するか、どのように使うかによって決まります。長距離を走る必要がなく、高い性能に興味がない人や、素早くコーナリングする必要がない人は、低価格帯のタイヤか平均的なタイヤで十分です。優先事項ではない重量を犠牲にすることで優れた耐パンク性を提供できるようになります。

街中での移動手段として自転車を使うのであれば、低価格帯のタイヤで十分です。この場合、レース用タイヤが持つ性能よりも、歩道を走ったり降りたりするのに役立つ安全性や重量、厚みといった特性こそが重要です。

もしあなたがパフォーマンスやレースに興味があるなら、ハイエンドタイヤを選ぶべきでしょう。なぜならば、トレーニングやレースで最大のパフォーマンスを発揮させるために、軽量化、低転がり抵抗、柔軟性、グリップ力に重点をおいているからです。ただし、長距離走行や耐久性にはまだ不利な面があります。

タイヤの用途

長持ちさせるか、特定の用途に使うか。

適切なクリンチャーを使用するためには、タイヤをどのようなシチュエーションで使用するかを考慮しなければなりません。長い距離を走るのであれば、性能を犠牲にしても、長持ちし、パンクしにくいタイヤが欲しくなります。

一方、目的がレースであれば自転車用タイヤのコンパウンドは柔らかく、まるでレースに出場しているかのようなレスポンスの良さが必要になります。つまり、長距離走行のためのクリンチャータイヤの耐性を捨て、どんな天候や路面コンディションでもグリップすることを優先し、レースに臨むための柔軟性を重視し優先しなければなりません。

1万 km 走ることができるタイヤが柔軟でパンクに強く、同時にグリップ力が高いということはありません。このように、タイヤの用途に応じてどの機能が重要かを判断し、自分に最適なものを選ぶ必要があります。

クリンチャータイヤのサイズについて

タイヤのサイズは、自転車フレームの面積とリムサイズを考慮する以外に、あなたの習慣やニーズによっても異なります。

23mm のタイヤは、28mm のタイヤよりも速く、反応がよく、剛性も高いと私たちは考えています。

荒れた路面にも対応でき、カーブや下り坂もソフトになる 25mm タイヤは、23mm と 28mm の反応性と快適性の適切な組み合わせを持ち合わせているため、リムとタイヤの幅が広がる傾向にある現在、最も広く普及しているタイヤであると言えます。

正しいタイヤトレッドの選び方

かつては、トレッドが滑らかいか硬いかによって、走りたい道（トラック、ウェット、未舗装路）が違っていました。ここ数年、ロードバイクのタイヤは、タイヤのグリップ力がトレッドの刻みに依存せずに、最新技術のコンパウンドによってどんな路面でも高い性能とグリップ力を発揮できるようになったおかげで、トレッドはより滑らかでわずかに刻まれる程度になっています。

タイヤの色

これも好みや自転車との相性、リムに対してタイヤを目立たせたいかどうかで、実に個人的な判断になります。ブラックカーボンの自転車には、明るい色のタイヤがよく目立ち、よりスタイリッシュになります。ただし、明るい色の面は汚れやすく、ハンドメイドの製品では、タイヤが傷つく可能性があるため、強力な洗浄剤を使用してはいけないということを考慮する必要があります。ただし、天然ゴムのサイドウォールは、中性洗剤で洗うことができます。

あなたの自転車に最も適した、あなたの要求を満たすことができるタイヤは何であるかがわかりましたか？

あなたに最適なタイヤを選ぶことが、ライドを存分に楽しむためにはとても重要なことをご理解いただけましたら幸いです。

